

<やさしい日本語でまち歩き 報告>

2024年3月9日 土曜日

参加者29名（日本人9名、外国人20名）

オブザーバー参加1名

訪問先：九品仏浄真寺、宮本三郎記念美術館



まち歩きを始める前に「九品仏まちづくりセンター」で集合、奥沢地誌保存会の染野和夫さんより、江戸時代から続く九品仏の歴史、名前の由来などの事前学習を受けました。

難しい部分もあったと思いますが、みなさんじっくり染野さんのお話に耳を傾け、熱心に説明画像を見ていました。



学習会後2チームに分かれ、自己紹介をしてから九品仏浄真寺に向かって出発しました。

閻魔堂では、さい銭を投げ入れて閻魔様のお告げを聞き、それを「やさしい日本語」で何というのかななどと知恵を出し合いながら楽しみました。仏像を見たり撫でたり、写経体験もできました。なかには御朱印帳を持参されている外国人の方もおり、驚かされました。手水所では手の洗い方を日本人の方が実演し、「やさしい日本語」で説明するなど、交流が深まりました。



九品仏見学のあとは、徒歩10分ほどのところにある宮本三郎記念美術館へ。今日の展示は「宮本三郎 絵画の変奏曲」。美術館職員から話を聞き、その後それぞれ自由鑑賞してから解散しました。鑑賞後にはミュージアムグッズを選びながら、やさしい日本語で談笑する姿も見られました。

本講座の目的のひとつは、日本の人に「やさしい日本語」について知ってもらい、実際に使ってもらうことでした。区内に住む外国人が増え、外国語ができなくても日本語で伝えることができる、お互いのことがしれる、ということを知ってもらい、生活の中でも「やさしい日本語」を使うことができるようになることです。ふたつ目は、世田谷区に住んでいる区民や外国人が、地域の良いところを発見しながら交流することで、地域で活動するきっかけをつくる事です。

参加した外国人の方の日本語のレベルは様々でしたが、日本人の方も身振り手振り、それでも通じないときは片言の英語や中国語を交えコミュニケーションをとっていましたので、このまち歩きは「やさしい日本語」啓発の点からも、地域発見の点からも十分成果がありました。

今回はお寺や美術館という難しい内容でしたが、「世田谷区のなかにこんな素敵な所があるのを知らなかった」という人にも地域の魅力を見つけ、楽しんでもらえる企画となりました。